



長 崎 県
中 小 企 業 家 同 友 会

DOYU

ニュース
21

E-mail jim@nagasaki.doyu.jp
 U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「私たち中小企業家が長崎県を牽引していく！」
～経営を極めていく企業家集団 会勢730名を達成しよう～

2018年度 合同入社式 開催!!

日時：4月2日(月) 13:00～17:00 会場：長崎インターナショナルホテル



桜舞う午後、13社40名の新入社員が集い、2018年度合同入社式が開催されました。共育委員会が担当し、2015年度からスタートした本行事も今年で4年目を迎え、毎年雰囲気が違う新入社員との出会いをいただいています。

今年は県央、県北を中心に高卒、専門学校卒、大卒など様々な年代の合同入社式となりました。冒頭松尾代表理事からお祝いの言葉を、続いて松本共育委員長から挨拶、そしてその後「社会人とは」という毎年不変のタイトルで土井前共育委員長から記念講演をいただきました。仕事とは、変化と安定とは？何のために仕事をするのか？様々な問いかけをしながら真剣にメモをとる新入社員の姿に感心しつつ、私自身初心にかえることができました。



後半のコミュニケーション研修ではグループに分かれ、グループ内の誰かを他己紹介するために情報を聞き出し、また自分のことを話すという内容です。いかに相手に興味を持って質問をするか、また相手からの質問に心を開き話すことができるのか、双方向性のコミュニケーションを行うことによって真剣ななか、時には笑い声も上がるなど和やかな雰囲気で研修を行うことができました。しかしながら最終的には他己紹介ではなく、自己紹介を全員からおこなっていただくというサプライズの企画変更もあったものの、各自しっかりと自己紹介を終える事ができました。

今回の研修は例年とは違い、より他社の同期社員との壁をなくし、7月、11月、3月と続くフォローアップ研修につながるよう、相手のことを知る、自分

目次

2018年度 合同入社式 開催報告	1	佐賀同友会 西支部 2月例会 参加報告	17
会員活躍	2	What is 共同求人?	18
各界からの提言	3	事務局企業訪問	19
3月例会報告	4	入会・交代・復会会員紹介	20
ダイバーシティ委員会 第9回例会 開催報告	10	理事会議事録 抜粋	24
中同協 第48回 中小企業問題全国研究集会 in 兵庫 参加報告	11	会員消息・会員数	25
中同協 第4回 幹事会 参加報告	16	5月例会案内・総会案内	26
第3回 新入社員フォローアップ研修 開催報告	17		

「地域の企業とともに、 そして地域の応援団として」

株式会社 長崎新聞社 代表取締役社長 才木 邦夫



プロフィール

現役職：株式会社 長崎新聞社 代表取締役社長 本籍地：長崎県
生年月日：昭和 25 年 8 月 16 日 最終学歴：昭和 4 8 年 3 月 長崎大学教育学部卒業

- ・昭和 48 年 4 月 (株)長崎新聞社入社、編集局配属
- ・昭和 55 年 4 月 口加支局長
- ・昭和 59 年 4 月 佐世保支社編集部
- ・平成 1 年 4 月 諫早支局長
- ・平成 5 年 4 月 編集局報道部
- ・平成 6 年 4 月 編集局報道部次長
- ・平成 11 年 4 月 総務局総務部次長
- ・平成 12 年 4 月 総務局総務部長
- ・平成 17 年 4 月 総務局次長兼総務部長
- ・平成 18 年 12 月 デジタルメディア本部長兼論説委員
- ・平成 19 年 4 月 デジタルメディア本部長
- ・平成 19 年 12 月 佐世保支社長兼佐世保・
県北販売対策本部長兼営業部長
- ・平成 22 年 12 月 取締役佐世保支社長兼佐世保・
県北販売対策本部長兼営業部長
- ・平成 23 年 4 月 取締役佐世保支社長兼営業部長
- ・平成 24 年 4 月 取締役佐世保支社長
- ・平成 24 年 12 月 常務取締役 編集・論説・輪転機更新担当
- ・平成 26 年 12 月 代表取締役社長

現在に至る

現在のような“日本語”による日刊新聞が誕生したのは、明治 3 年（1870 年）、横浜だったことはよく知られています。しかし、その原点は長崎にあったことは、残念ながらあまり知られていません。

実はこの最初の新聞の制作に当たったのは、「活版印刷の父」といわれる、長崎の本木昌造だったのです。活字の印刷技術を習得した昌造の評判を聞きつけた当時の神奈川県令（知事）が、飛脚便を出したのがきっかけでした。いわく、人々の教育や行政の情報を素早く広げるために、数千回の印刷にも耐えうる昌造が発明した活字を使いたいと。昌造は早速、活字と印刷機を持たせ、門下生を派遣したのでした。

これが原点の一つです。

二つ目は、実は昌造はこれより先、明治元年（1868）、自らこの長崎で、新聞を作って発行しました。これは現在では、地方新聞第一号といわれていますが、不定期だったことなどから、横浜に名誉を譲ることになりました。

原点という三つ目は、“日本語”による新聞と冒頭、書きましたが、長崎では明治の文明開化より 7 年も早い文久元年（1861 年）

には、在留外国人のための英字新聞が発行されました。日本では最初の外字新聞です。

こうした潮流のなかで、私ども長崎新聞社は明治 22 年（1889 年）に生まれました。論を興し、よりよい街づくりに貢献することを使命と課しました。

以来、明治、大正、昭和の三代にわたり、地域に支えられ、地域とともに歩み、おかげさまで来年には創刊 130 周年を迎えることとなります。

創刊時の精神を受け継ぎ、公正な報道はもちろん、地域の経済、産業、文化、スポーツの振興に貢献することを、私どもの憲法といえる新聞綱領に掲げています。そのためには、もっと長崎の地元の新聞社でありたいとの思いを込め、創刊 120 周年以来、「県産紙」と名乗らせていただいています。

県内の企業の大部分を占める中小企業の元気が地域の元気です。地域の応援団として、企業の人事をはじめ、新たな取り組みや新商品開発、特産品の掘り起しなど、なお一層きめ細かな報道を目指し、また社員教育などでも協働できるものと思います。これからもよろしく願いいたします。

長崎浦上支部 例会報告

日 時	3月13日(火) 18:30～21:00
会 場	長崎新聞文化ホール・アストピア
テ ー マ	町工場の全社員が年収600万円以上もらえる理由 ～働き方改革から営業ゼロでも会社も社員も儲かる仕組み～
報 告 者	(株)吉原精工 会長 吉原 博 会員(神奈川同友会)



吉原さんは1980年に機械1台で金属加工の会社を一人で起業しました。以来、徐々に社員も増え、バブル期には20人程度まで増えていきました。しかし当時は残業当たり前の労働状況だったらしく、その頃に神奈川県同友会に入会したことがターニングポイントになったそうです。

具体的には、社員をグループ化し、残業代を予め給与に組み込み業務の効率化を図り、土日休みの週休2日制と年3回の10連休を実施しました。

その後バブル崩壊、ITバブル崩壊、リーマンショックの際に計3回もの倒産危機を迎えますが、社員のリストラ、3つあった工場のうち1つを閉鎖、不採算部門からの撤退、FAX・DMによる営業、といった施策によって乗り切っていました。また、途中で自動販売機での飲料水販売事業、車につけるマグネット販売事業やレーザーカット事業といった本業以外の事業にも進出しました。しかしあまりいい結果は出ずに撤退しました。その時に「果たして自分は本業に真剣に



向き合っていたのか」と思い直し、本業の金属加工業に専念することを決めたそうです。以来、順調に業績を伸ばしていき、社員の年収600万円、ボーナスは年2回全員に100万円、週休2日残業なし、年3回の10連休といった労働条件を実現するほどになりました。

昨今、「働き方改革」といった言葉が世間でも広く言われていますが、吉原さんの会社は厚生労働省「過重労働解消のためのセミナー」パンフレットに会社の取り組みが掲載されたのをきっかけとして、新聞やテレビ等でも取り上げられるくらい注目されています。

今回の例会は100人近い参加者を数えるほどの盛況で、出席者も吉原さんの報告に非常に感銘を受けていました。

(文責 北川 亮)

長崎出島支部 例会報告

日 時	3月22日(木) 18:00～20:30
会 場	サンプリエール
テ ー マ	彩りある福祉の共創
報 告 者	社会福祉法人 ながよ光彩会 理事兼統括施設長 貞松 徹 会員

39歳の若さで自身は理学療法士でありながら、社会福祉法人の理事、統括施設長、法人事務局長を兼務

し、東京に拠点を構えるNPO法人の理事(CFO)など様々な役職をなされています。しかしこれまでの道のりは決して安易ではなかったと思います。

26歳の時に仕事に対する悩みからバックパッカーとして海外に飛び出します。そこで1つの出会いがあり人生が大きく変わります。そして日本に帰国してもうひとつの出会いがあり、仕事に対する情熱が変わります。「福祉とは人のためにできること」その熱い情熱が家族に対しても、入居者に対しても、スタッフに対しても注がれているように感じました。



熊本地震の支援活動、地域活動、職員研修など様々な取り組みも行われています。それはながよ光彩会の法人理念に結びついているのでは

ないでしょうか。

今回の報告を聞いて企業と福祉を結ぶのはとても容易ではないと思いましたが、報告後の感想では「私た



ちでも福祉は出来る」「福祉に対して私たちにも出来る事がある」など様々な発表がありました。最近でも大型福祉事業所の破綻の記事をよく目にします。しかし今後の課題として高齢化社会も含めた福祉事業、介護事業その中に中小企業家同友会が協力出来る部分があると思います。これからの福祉における企業の役割を考えさせられる実りある例会だったと思います。

(文責 本多 邦暁)

大村支部 例会報告

日 時	3月15日(木) 18:30~21:15
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	波佐見焼「デザインを活かした暮らしの器を長崎から世界へ」
報 告 者	白山陶器(株) 代表取締役 松尾 慶一 会員(佐世保支部)



長崎県中小企業家同友会の代表理事、次年度は全研実行委員長としてご活躍されている松尾さんですが、今回は白山陶器(株)社長、一人の経営者としては是非知りたいし聞きたいと大村支部会員の中で要望が多々有り、経営体験報告を行っていただきました。

当初、くらわんか碗、コンプラ瓶の庶民向けの陶器を巨大な登窯で大量生産を行っていた波佐見焼、ブランドに関しては伊万里焼、有田焼の陰に隠れていま



たが今日では日本を代表するブランド『波佐見焼』として名を馳せています。

1958年、先代社長時に白山陶器(株)の社名を図案化・装飾化(ロゴマーク)の画期的な発案、他との差別化を図ったデザイン、付加価値の高い数々のヒット商品開発に手掛けられ、これまでにグッドデザイン賞133点ロングライフデザイン賞42点の作品をこの世に送られています。

しかし白山陶器(株)にも困難な時期がありました。80年代をピークに売上減、債務超過、受注生産でなく見込生産で大量に在庫が発生し絶望的な状況に陥りました。

そんな窮地からいかに盛り返したのか?

その後の松尾さんの行動力、経営力には敬服します。松尾さんの気持ちが変わったきっかけは、海外の国際見本市。この体験を境に白山陶器(株)の風向きが変



まりました。

自らテーブルウェアフェスティバル（東京ドーム）に出向き商品の発表、積極的なPR、更に南青山にHAKUSAN SHOPのOPEN。売れるかは求めず『兎に角お客様に知っていただく！』結果、このブレない松尾社長の経営手腕は、今日の白山陶器（株）のV字回復、『波佐見焼』ブランドの定着に繋がったと思います。

今回の松尾さんの言葉の中で、次に繋げる今できる



ことを一生懸命行うこと。物事に対して情熱的にやること。行動はやり続けること。松尾さんの、経営者としての心構え想いが鮮明に伝わる報告でした。

最後に『知ってもらうことの大切さ』

この言葉、大変重みを感じます。

ご多忙のなか、大村支部でのご報告、松尾さん、有難う御座いました。

（文責 浦郷 学）

諫早支部 例会報告

日 時	3月20日(火) 18:30～21:00
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	諫早のホームページ屋さんが伝えるウェブ最前線 ～キーワードは「モノからコト」～
報 告 者	(株)タウラボ 代表取締役 田浦 健吾 会員



今回の報告者である田浦さんは、同友会に入会して約三か月、同友会という会をまだそれほど知る前での報告でしたが、かなり充実した報告でした。

まずは、インターネットを活用して生活をいかに快適にすることが出来るのか？という事でした。ネット検索をかけて飲食店やホテルを検索するという生活に密着する話をベースに、会社のホームページを作成する意味の話にシフトしていきました。ホームページを持つことは非常に便利ですが、ネット上では常に見られており他社との比較もされやすい。しかし、それをうまく利用すれば宣伝広告の効果は絶大であり、ネット通販等を行ったり出来る訳です。そのような事により会社の信用度が向上する訳です。なぜ会社の信用度が上がるのか？前述したように物事を行おうとする時、まずはネット検索するという時代になっていますので、その検索にヒットす



るかしなないかで、最初の選択候補に挙がるか挙がらないかになり、挙げた会社はどんな会社なのか？更に検索されるという時代の流れになっています。またホームページ制作業も然りで、無理やり契約させる業者や詐欺紛いの契約を結ばせようとしたり、アフターフォローの全くない業者だったりと多種多様です。そんななか、報告者の田浦さんは顔を合わせてじっくりと打ち合わせ、お客様が欲している事をやるという、実に親切な感じで、実際私も田浦さんにWebの事で助けてもらったことが多々あります。顔を突き合わせることでアフターフォローにも自然と熱が入ります。それが自ずと差別化に繋がり、かつ、それが武器となり「モノからコト」に繋がるんだ！と共感しました。

（文責 山口 大輔）

島原支部 例会報告

日 時	3月22日(木) 19:00～21:15
会 場	HOTEL シーサイド島原
テ ー マ	我が社の働き方改革
報 告 者	GYARIRU 代表 北尾 新 会員



今年度最後の例会は、支部仲間づくり委員長で来期の副支部長を予定されています北尾さんに報告をいただきました。北尾さんは今期、仲間づくり委員長として会員の増強へ尽力され、新たな仲間をたくさん迎えることができました。そんな北尾さんが会社での取り組み、特に社員の働き方改善への取り組みに重点をおいて報告され、人への気遣い、社員への仲間意識の高さが伺える内容でした。

北尾さんは、美容室を開業し現在2店舗を経営していますが、就業時間について労働基準監督所からの指摘を受けた事や、自身の養育時の経験から働き方改革に取り組みました。営業時間の短縮や有給休暇・定休日の増加等により週40時間内勤務を実現し、併せて昼食休憩の1時間確保等職場環境の改善を行っています。また技術の向上や設備の改善により人時生産性を高め、また、地域では少ない技術（エクステ）等の導



入により営業時間を減らしながらも売上を確保していく事ができるようになっています。社員とランチミーティングを行い意見交換も行い更に職場環境の改善に努めています。

美容業界ではお産時における離職率が高く養育しながらの勤務が難しい現状ですが、今後はそこに着目し、優秀な人材がお産明けに働ける時間に働ける環境を整備し、人材不足とされる昨今の状況を打開していく事に取り組んで行くとのことです。

報告全般から、北尾さんの経営に対する素直さがうかがえ、その素直さがゆえの行動力があり、なにが正しいのか、なにをしなければならぬのかを常に考えて経営していることが感じられました。

ディスカッションでは、会社でみんなが働きやすくするために実践している事や実践してみたい事をテーマにしましたが、中小企業においては職場環境の改善、特に就業時間の改善は課題としている会社が多く感じられました。また、人間関係による職場環境の劣悪感の改善等も難しい問題だという意見も多数ありました。

今回、北尾さんの報告で職場環境という面で経営者として考えさせられる、大変刺激になる例会でした。

(文責 北浦 雄一)

佐世保支部 例会報告

日 時	3月16日(金) 18:30～21:00
会 場	アルカスSASEBO 3F 大会議室
テ ー マ	波乱万丈～現在進行形
報 告 者	(有) 思案橋観光 取締役社長 山口 憲男 会員(長崎出島支部)

今年度最後の例会は、県の例会委員長の山口憲男さんの報告でした。山口さんは、20歳で多額の借金を背負い、そこから起業しては成功と失敗、栄光と挫折を繰り返されています。そして、今もなお窮地に陥られています。虎視眈々と復活の準備に着手されてい



ます。

そんな山口さんの、失敗してはすぐ立ち直るメンタ



ル面の強さ、そして商売に対するアイデア力と行動力には、見習うところが多々ありました。その反面、人の使い方の苦労や、調子に乗りすぎての投資の失敗など、山口さんの成功の秘訣と失敗の教訓から数多くの学びがあった経営体験報告だったと思います。

また、現在県の例会委員長をされていますが、例会での経営体験報告の醍醐味も語っていただきました。そして例会で報告することにより、「自分という人となり」を会員に知ってもらえる。「自分自身を見つめ直す機会をもらえる。」「自社と商品の宣伝が無料ででき



る。」「自社の欠点を発見することができる。」「自社の事業計画の見直しができる。」「会員との絆が深まり仲間になれる。」といったことから、一番得をするのは報告者なのでぜひ例会で経営体験報告をするように呼びかけられました。

山口さんの破天荒な人柄と熱き語りが参加者を魅了し会場は盛り上がり、本年度最後を締めくくるにふさわしい例会になったと思います。

(文責 尾崎 彰宣)

北松浦支部 例会報告

日 時	3月22日(木) 18:30～20:30
会 場	松浦シティホテル
テ ー マ	技能実習生受け入れ制度とは？
報 告 者	トータルビジネス協同組合 代表理事 黒木 和朗 氏 課長 浦野 貴 氏



トータルビジネス協同組合では、組合員向けに①高速道路料金の共同精算事業 ②外国人技能実習生受け入れ事業 ③燃料カード事業 ④組合員を支える各種共同事業の4つの事業を柱に事業を行われております。報告では②外国人実習生受け入れ事業についてご報告いただきました。

まず、外国人技能実習制度とは、諸外国の青壮年実習生を日本に受け入れて、日本の産業・職業上の技術・

技能・知識の移転を通じ、それぞれの国の産業発展に寄与する人材育成を目的としています。2017年11月1日より新しい「技能実習法」が施行され、研修・技能実習制度が新たな制度が新たな制度の下で運用されています。

なお、主な変更点は次の通りです。

- (1) 認定制に変わる
- (2) 優良企業であれば最長5年間の受け入れが可能
- (3) 実習生に対する人権侵害行為等について罰則が規定される
- (4) 実習生保護の観点から実習生の企業間転籍を認める。

以上が2017年11月1日からの主な変更点となっております。

技能実習生は1年目:技能実習1号、2年目3年目:技能実習2号、4年目5年目:技能実習3号と区分されています。それぞれの区分ごとに試験が設けられており、その試験に合格しなければ次のステップに進むことができない制度となっています。

受け入れることができる技能実習生の人数は、その企業で働く常勤社員の人数に応じて決められており、常勤社員30人以下の企業の場合は3人の技能実習生の受け入れが可能。最大で常勤社員301人以上で常勤社員総数の5%まで受け入れ可能となっています。

外国人技能実習生を受け入れる際の流れは、

1. 組合加入資格の確認
2. 技能実習職種・作業種目の確認



3. 受入コストの確認
4. 組合加入・協定書締結
5. 技能実習生の募集
6. 現地視察面接選考
7. 受入計画認定申請、在留資格認定申請(約2ヶ月～3ヶ月)
8. 在留資格取得後、送り出し国で査証申請(2

～3週間)

9. 日本入国。入国後約1ヶ月の講習(岡山研修センター)

10. 受入企業配属

申込から企業配属まで、約6ヶ月～7ヶ月の期間を見込む。

<感想>

外国人技能実習生を受け入れたいがどのようにして受け入れればよいのか?どこに相談すればよいのか?これまで外国人技能実習生について全く知識がありませんでした。しかし、本日の報告を聞いて外国人技能実習生を受け入れる際は、トータルビジネス協同組合にまず相談して、実際に受け入れるときには組合員となりサポートを受けることで、安心して外国人技能実習生を受け入れることがわかりました。

(文責 吉田 大)

五島支部 例会報告

日 時	3月24日(土) 18:30～21:00
会 場	福江総合福祉保健センター
テ ー マ	魅力ある例会について
報 告 者	五島トラック建設(有) 取締役 谷川 喜一 会員 (有)五島観光タクシー 代表取締役 辻 千穂子 会員



今月は、五島支部の例会出席率UPが図れるよう役員会で協議されたことを支部会員へ周知するために、また、会員自身が例会を企画するなら、どのような例会を企画したいか?など、運営する側に立つという意識を持ってもらうために開催いたしました。

例会委員長の谷川さんから今後の例会担当委員会制度等の説明や、委員長を経験してという話があった後、過去に行った例会や会員に聞いた開催したい例会テーマ等を参考にディスカッションしていただきました。それぞれ今後の委員会に分かれていただき、担当月に



どのようなテーマで例会を企画するか、その例会の目的は何か、例会を開催するまでにどのような段取りを踏んで開催まで漕ぎつけるか等の確認を行っていただきました。ということで、五島支部では4月の総会後から担当委員会制度の例会が始まります。関わる会員が当事者意識と何かの役割をもって例会に携わっていただき、主席率と会員の学びがUPする例会になることを期待いたします。

(文責 勝本 政裕)

青年経営者会 例会報告

日 時	3月21日(水) 10:30～
会 場	長崎ペンギン水族館
内 容	2018年春一番ハタ上げ大会

今年で32回目を迎える青年経営者会伝統のハタ上げ大会。昨年に引き続きあいにくの空模様となり、今年は長崎ペンギン水族館さんの見学に変更とさせていただきました。

開始早々送迎バスのトラブルに見舞われましたが無事にマリア園さん、明星園さん、浦上養育院さんの子供たちと先生方、青年経営者会メンバーとご家族で総勢100名を超える参加者を迎え橋本会長の挨拶のあと、交流の見学会をスタート。水族館内に入ると子供たちの楽しい声が一斉に飛び交い始め、ゆっくりと館内をみてまわりました。またペンギン水族館さんのご厚意で会議室や屋根付きの職員駐車場を特別に開放していただき昼食。新栄総業(株)の伊藤さんのお

弁当、(有)いろは興産の林さんの豚汁の炊き出しを皆さんと共に美味しくいただきました。

午後からは同じく館内の内覧の後、レクリエーションを行い、より一層の交流を図ることができました。最後はペンギン水族館の楠田館長にご挨拶を頂戴しバックヤードも特別に見学させていただきあっという間に時間が過ぎてお見送りとなりました。

子供たちがそれぞれに「楽しかった!」「また来たい!」と笑顔があふれていたのが印象的でした。ハタ上げ大会は残念な天候の為できずじまいでしたが、青年経営者会メンバーも施設の子供たちや日頃なかなかできない家族間の交流など、その時間が大変素晴らしいものになり有意義なイベントとなりました。この伝統をしっかりと受け継ぎ開催の意義を留めて行きたいと心から感じる事ができました。次回ハタ上げ大会はもっと多くの方々に参加していただき天候に恵まれる事を願います。

(文責 実行委員長 安井 忠行)

ダイバーシティ委員会 第9回例会 開催報告

開催日時：3月12日(月) 18:30 会場：サンパーク吉井

テーマ：「ひろがる無限の可能性」～未来を支える特別支援学校 生徒の夢・希望・実践～

報告者：長崎県教育庁 特別支援教育室 指導主事 前田 憲吾 氏

長崎県立佐世保特別支援学校 進路指導主事 井上 英一 氏

長崎県立佐世保特別支援学校高等部北松分教室 教諭(進路指導部) 楠本 剛 氏

長崎県立島原特別支援学校 進路指導主事 池田 章洋 氏

長崎県立川棚特別支援学校 進路指導主事 下田 淳康 氏

(株)村上彫刻 専務取締役 村上 敦子 会員(佐世保支部)

(株)スタイルマート 代表取締役 堤 直司 会員(北松浦支部)



今回の例会は、ダイバーシティ委員会として初めての県北での開催となりました。

「ひろがる無限の可能性」をメインテーマに、4つの特別支援学校(佐世保・島原・北松・川棚)の先生たちによる学校紹介と、子供たちの日々の様子、現在の課題等を報告していただきました。各学校とも、子



供たちの可能性を広げていきたいという先生たちの思いが、ひしひしと伝わってきました。

報告の中では実際に職場実習をしている様子も撮影されていて、仕事に向き合い、奮闘している姿を見る事ができました。

子供たちとの様々なエピソードを聞くたび、私たち



がイメージしているよりももっと、いろいろなことができるということを知ることができました。

もちろん雇用となると子供たちはもちろん、雇用する側にもサポートが必要です。

今は様々な支援機関や、ジョブコーチなどの制度が充実していることも併せてご紹介していただき、雇用を検討する際の大きなヒントになったと思います。

各学校の報告後は、職場実習で子供たちを受け入れた経験のある同友会会員に報告をしていただきました。佐世保支部の村上さんは、職場実習を受け入れた際のエピソードを、北松浦支部の堤さんは実習⇒雇用



までのいきさつ、結果会社の大きな戦力になったエピソードを話していただきました。受け入れにあたり、事業者が戸惑う部分にも言及してもらい、より具体的に受け入れる際のイメージを共有することができました。

まとめとして、今の中小企業の最も大きな課題といえる、人材獲得の一つの選択肢として、障がい者雇用の可能性を感じる事ができた例会となりました。

(文責 佐世保支部 山崎 秀平)

中同協 第48回 中小企業問題全国研究集会 in 兵庫 参加報告

開催日：2月8・9日(木・金) 会場：神戸ポートピアホテル

第11分科会

人口減少時代における中小企業の人材戦略とは
～中小企業環境研究センター「採用と社員教育」特別調査から～

拓新産業(株) 代表取締役
福岡同友会 会員

藤河 次宏 氏

慶応義塾大学 経済学部教授
中同協企業環境研究センター 副座長

植田 浩史 氏

佐世保支部 橋口 久

本分科会でのキーワードは、「一流の中小企業」でした。一流企業＝大企業概念は終焉を迎え、来るべ

き新時代では、一流に企業の大小は関係なくなるようです。

落合陽一氏の「日本再興戦略」の中で、社会における中小企業の新たな位置付けが示されています。

“企業は大企業である必要もなく、むしろ小さい会社がたくさん生まれてくることでしょう。(中略) スマホのエコシステムは、アップルやグーグルが統治していて、その上に、フェイスブックやメルカリやヤフオク!のようなサービスが乗っかってきます。アップル、グーグルと、そのエコシステムの中でサービスを行う企業はレイヤーが違います。そうしたサービス

V・ファーレン長崎



応援マット

ダスキン栄進 電話 095-823-7633

瀧川 隆 会員 (長崎出島支部)

広告募集

< 4cm x 9cm >

複数月	6ヶ月	12,000 → 10,000
	4ヶ月	8,000 → 7,000
割引	3ヶ月	6,000 → 5,000



を行うレイヤーは、小さな会社でも十分に戦えます。トヨタやソニーのような垂直統合は必ずしも必要ありません。そうした小さい企業が次々と生まれ、どんどんイノベーションを起こしていけばいいのです”

これまでの大企業と中小企業の主従関係では、一流の称号は主の立場の独占でした。しかし、これからの企業の線引きは、規模ではなくエコシステム上の階層となるため、其々の階層で一流が誕生します。階級ごとにチャンピオンがいて、階級を跨いだマッチをしないボクシングと同じです。

では、一流の中小企業とは何でしょうか。本分科会での一流への鍵は、E S（従業員満足）でした。最近、私の周りでも、「これからはE S」と発言する会員が

増えています。報告者の藤河さんはそれを徹底していました。E Sを上げるため、30年前にC S（顧客満足）をキッパリ捨てたというのです。会場はざわつきましたが、藤河さんの経営ロジックに話が及ぶと、E Sこそが最大のC Sと理解できました。30年前の合同説明会で、自社ブース訪問者ゼロから出発した求人も、今では、共同求人と自社サイトのみの新卒募集で、毎年300名の応募があり、定期採用を継続しているとのこと。更に今年は、30年前に共同求人採用した従業員と社長交代し、事業承継をするそうです。そして、この四半世紀で一流の中小企業に近づけたのは、経営指針を軸とした同友会活動を愚直に実践したからこそと断言されていました。

「人がいない」「人が来ない」などの嘆きは、自社がまだ一流の中小企業ではない証拠。一流を目指すことで、様々な経営課題が解決します。そして、一流になるためには、まず自社のE S着手が王道の入口であり、高いE Sの実現には、同友会での学びと実践が最短距離です。

経営の原野に、一流への最短距離を作ったのは、全国のべ15万人の先輩会員たちです。我々が経営の王道のど真ん中を歩き、そしてその先の荒野を切り拓いていくことこそが、我々が目指す中小企業新時代の幕開けではないでしょうか。

第12分科会

エネルギーシフトで持続可能な地域を創造する ～「環境経営」の実践とエネルギーの地産地消へ～

(株)高田自動車学校 代表取締役
岩手同友会 代表理事

田村 満 氏

名古屋大学大学院 環境学研究科
社会環境学専攻 環境政策論講座 教授

竹内 恒夫 氏

佐世保支部 片桐 孝章

報告は、竹内さんより、①エコと環境・主に世界（特にCO2削減が上手く進んで）と日本の現状及び課題、②同友エコと環境経営・日本のこれからもエネルギーシフト及び企業に求められる環境経営、③エネルギーの地産地消とエネルギーシフト・世界首長誓約及び日本のこれからの推進のお話でした。

世間一般的には、地産地消という考え方になると思いますが、そうではなく、地消しているものは、地元で生産しビジネスにしていく必要があるとの考え方でした。

続いての報告は、田村さんで、こちらの場合は、実際に企業としてのエネルギーシフトの実践のお話でした。

最初に実践された事は、岩手同友会での欧州視察から始まり、良い所を自社で取り入れることでした。

自社の校舎新築に伴い、とことん使用エネルギーの削減を実施（冷気を遮断する為に、窓の外に上げ下げできるシャッターを筆頭に内部も熱が逃げない作りにし、電気代等のエネルギー費を前年より、30%減の約80万円削減されたそうです。

現在は、エネルギー会社の設立もされ、太陽光発電を主とし、地元にて株主を集め、還元されているそうです。

ディスカッションは、長崎でも行われている進行の仕方でした。

分科会が終わると、全体での懇親会、今年は2000人を超える人数が集まり、九州ブロック等に振り分けがされていたので、スムーズに自分達のスペースに移動出来ました。

兵庫県知事の挨拶から、神戸市町の挨拶が有りました。

懇親会後は、神戸の街に繰り出し（兵庫同友会のお店2件）、他県の会員さんとも交流できました。※勿論来年の長崎全研のアピールもしました。

全体会では、有馬温泉観光協会 会長の金井 啓修氏による記念講演があり、主に、バブル崩壊及び阪神淡路大震災で、客足が減った温泉街を如何に復興したかのお話でした。

一番参考にされたのが、大分県の湯布院を視察し、

親睦交流を深め、有馬の仲間たちと回遊性のあるまちづくりをコンセプトとしたそうです。

終了後は、会員さんのお店で昼食、有馬温泉探索し、20名程の会員さんと、各県の例会参加状況や取組等を話し合い、結構、県による違いが有る事に、一喜一憂しました。

2月10日（土）は、全体会の報告者の宿（御所坊）

にて、朝食後、廣野カントリー倶楽部にて、ゴルフを楽しみ、終了後も、休憩所にて、来年の全県の紹介及び同友会について、話が盛り上がりました。

とにかく、兵庫県の会員さんの「おもてなし」が良かったので、来年の長崎での全研も皆さんと盛り上げたいと思いました。

第13分科会

技術革新と中小企業

～第4次産業革命への対応～

経済産業省 産業構造課長 **蓮井 智哉 氏**

(株)マイソフト 代表取締役
東京同友会 会員 **藤田 功 氏**

佐世保支部 村山 隆之

今回の兵庫での全研参加は、二つの目的がありました。一つ目は、昨年4月より就任した「社会福祉法人むすび会」理事長として、利用者（施設内で働く障がい者）の工賃アップとなる事業開発のヒントのため。二つ目は、来年開催される長崎全研のためでした。

まずは二つ目の来年開催の長崎全研からの視点です。私の場合、新幹線を用いた行程でした。お迎えの兵庫同友会会員が至るところのキーポイントに配置されていました。会場に到着するまでに長崎の場合、どこに配置すればとの想いが頭の中を巡って行きました。

特に心配になったのは分科会への移動です。兵庫の

場合、大きな施設のため一箇所で多くの分科会が開催されました。長崎の場合、現在の計画では長崎市内の数箇所での施設開催となり全国から来る長崎の地理に詳しくない会員にどのようにスムーズに移動させるかとても心配になりました。長崎全研の成否を握るのは、分科会への移動の組み立てだと思います。

次に一つ目の目的となる分科会です。はっきり言って私にとって選択ミスと感じた分科会でした。内容は、IT・AI・IoT（Internet of Thing）でした。難しい専門用語が出てくる報告で自分のレベルでの理解は難しい内容でした。

IoT（Internet of Thing）の意味である「あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術」とは少し理解できましたが、そこを今後どのように自社に用いるか、まだ見えぬ状態で分科会を終了しました。

しかし記念講演会といい、震災復興シンポジウムといい、流石中同協全研と言えるだけのすばらしい大会でした。

第14分科会

鍛冶屋の親父が、洗浄機シェア No1のメーカーへ

～そして、盤石の体制で次にバドンをわたす～

森合精機(株) 代表取締役
兵庫同友会 会員 **森合 政輝 氏**

島原支部 末永 義邦

21歳の若さで社員10名の町工場を事業承継された森合さんの経験と実践的な経営体験です。

事業承継時、森合さん自らの性格はおとなしく事業には不向きな経営者でしたが、変わるきっかけは、沢山のお客様の出会いでお客様から鍛えられて経営者としての強い意思を形成することができたと話されていました。

承継当初は油圧バルブ事業を引き継ぎ、時代の流れを見て異業種への展開で洗浄機事業を開始し徐々に拡大でき、社員数も増やすことができた事例は当時ニ-

ズがあり、隙間産業的な分野進出は今の私自身にとっても学びになる話でした。

事業拡大に伴い大学卒業生を雇用するにあたり、勉強する場として同友会へ入会しました。そのなかで経営道場があり、会員10人以上が集まり各自の夢を本音で語り合い、イヤな事でも言い合いの場を作り意見交換を重ね、信頼できる仲間たちと経営指針を作る事ができて会社経営を同友会で学ぶなか、社長の姿勢で社員・会社が変わる事を知り、今までの鍛冶屋の親父から経営者になる事を決意した事に同友会が経営者にとって学ぶ必要な会と実感しました。

森合さんが同友会で学ぶ中、京セラの稲盛和夫氏が作り出したアメーバ経営の一つ、社員教育を取り入れて改善する事ができ、その中で社員に対しては叱るより褒めて長所を伸ばす事が短所をカバーできて成績が上がり自信・功績になる良い学びになりました。

今後、行動しない経営者の姿勢はダメです。もっと

積極的に行動して世間の動向を知る為に外に出て沢山の情報・出会いを大切にすれば自然に道は開けます。

会社を辞めてしまう社員は経営者を見て落胆して辞めてしまうので経営理念・経営指針を共感しながら進めていく大事さと社員が自立する仕組みづくりをする為、社員の家族を大切にすることが大事で社員全体をまとめる為の人材育成には幹部を鍛える事が社員末端

までまとめ、今後の会社経営が盤石となって事業承継へバトンを渡す為の人材が育つ取り組みには感心しました。

事業を展開するに連れて嫁より事業が大事・家庭より社員が大事・金儲けより社員が大事、人の大切さを学んだ14分科会でした。

第15分科会

「人を生かす経営」から見た、 自社の強みを生かす事業承継

～あなたは何を継ごう・継がせようと思いますか～

大和化学工業(株) 代表取締役社長 東田 誠次 氏
奈良同友会 理事/支部幹事長

川端運輸(株) 代表取締役 川端 章代 氏
奈良同友会 代表理事

諫早支部 平湯 湧一

1月31日に(株)諫早スイミングの経営計画発表会を開催いたしました。その中で10年ビジョンを提示しました。その一つとして社長交代ができていますを上げました。

分科会を選ぶにあたりこの事業承継がありましたので一番に申し込みをしました。いいヒントが必ずあると期待感を持ち分科会に参加しました。参加にあたり自分で決めていたことがあります。「謙虚に耳を傾ける事、素直にうなずく事」先入観、否定概念を持たないためです。これは初めて持ったことですが良かったと思います。これからも色々な場面で実行したいことです。

お二人の発表を聞き感じたことはあまりきれいすぎて驚きでした。シミュレーションを何度もされたと聞いてそうだったかな～と思いました。ただ根底にある「人を生かす経営」の実現めざしてやっておられことに感服しました。家族経営から社員さんが増えるにしたがい、悩みがどんどん増えて行く様子はどこも同じ



でそこで同友会に出会えたことが一番の共感でした。わが社では経営理念を共有することは出来ていると思いますが、それぞれの強みを生かすことができていません。これからの課題です。

それには社員教育しかないと思います。技術力を高める事、人間性を高める事、この二つに絞って今年計画・実践していきます。経営は利潤追求の場ではなく利潤は結果に過ぎないところです。正しいか、間違っていないかをすべての判断基準にしていきます。

グループ討論は8人で行いました。グループ長の進行がこうも大事かと改めて感じました。一番のキポイントは何か。同友会の例会をどのように成長の場所ととらえているか。本人にその覚悟があるか。これからの人生をどう歩くか。等々実のある討論でした。来年の長崎全研ではグループ長研修をしっかりとやってもらいたいと実感した次第です。

第18分科会

中小企業がアジア経済の主力に

～国際展開と企業連携の可能性を考える～

日本フッソ工業(株) 代表取締役 豊岡 敬 氏
大阪同友会 副代表理事

大村支部 細名 久

この度、同友会に入会し3度目の、全国研究集會に参加させていただきました。横浜全研、鹿児島全研、そして今回の兵庫全研です。

今回は特に次年度、長崎での全研開催を控えている

ということで大村支部からの参加者もいつもとは違う意識で参加したのではないかと思います。開催場付近での兵庫同友会の会員の駅周辺から会場までの徹底した配置と入場の際、平日にもかかわらず数多くの会員からのお出迎え、盛大な拍手によるおもてなしには圧倒される中、さっそく分科会に参加致しました。

分科会では報告後、グループ討論テーマ「中小企業の国際展開やその対応の意義、可能性をどう考えますか」「企業の連携による新しい仕事づくりをどのように進めていきますか」またいろいろなテーマのディスカッションに加わりました。

最初、私は地域密着型の飲食店で、他の方々はすでにアジアとの貿易やアジア人を雇用している会社や日本文化である着物を通して海外に店舗拡大を目指すなかで場違いの分科会に来てしまったと不安でしたが、最終的には、海外展開による失敗談や商談するにしても何度も足を運び何年もの付き合いを得てしっかり経営理念を理解してもらった事の大切さ等、海外展開に力を入れている方の理由を一企業者として、また同友会会員としての意義が学べた分科会でした。

その後の懇親パーティーではオープニングにて迫力ある獅子舞いや龍踊などが披露されていました。1000人以上の会場は、まさに活気が溢れ料理に関しても種類の豊富さと量はもちろんの事でしたが、参加者が料理を取りに行く際に負担がかからないよう配置も工夫されていた感じがしました。

次の日は全体会に参加し記念講演「地域に眠る物語を資源に変える！有馬温泉老舗宿15代目の感動の賑わいづくりとは!?」、震災復興シンポジウム「その時経営者が命がけでやるべきこと」の講演会も勉強になりました。大会二日目にもかかわらず講師たちも言っていました参加者の多さに驚きました。学びに対する会員皆様の意識の高さだと感じました。

最後に今回兵庫同友会の皆様が全研に向けてかなりの準備や研修をしていた事が凄く伝わりました。手際の良い運営、いろんな方から分科会に参加した際、グループ長のレベルの高さと思いやりが良かったと聞きました。

私も今回参加して全研に対する意識と同友会会員としての意識向上に繋がりました。今後もこのような大会に参加する事の大切さと意義を感じました。

第19分科会

日本の地中海淡路島から世界へ

～創業100年！売上100億！あきら麺！～

淡路麺業(株) 代表取締役 出雲 文人 氏

大村支部 徳田 信義

見学分科会でしたのでバスに乗り出発と同時に分科会が始まり報告者の会社に着く迄の時間、報告者のプロフィールの紹介や淡路麺業のテレビ取材を受けた時のビデオを見ながら明石大橋を渡って行き(株)淡路麺業に1時間ほどで着きました。到着後、工場を見学し商品のこだわり等、詳しく説明を受けました。その後、報告者の報告が始まり、瀬戸内海最大の島淡路島でうどん製造から始まった淡路麺業(株)は大手小売業の進出により価格競争のあおりを受け廃業の危機に迫られ、出雲氏は大阪の会社に勤めていたが、4代目であるお父さんに呼び戻され2008年に30歳で社長に就任し、会社の立て直しを図って試行錯誤を重ねて生パスタ製造販売に特化し地域と連携を図る為、地元農家や行政と連携し、農産物を生かした新商品造りを行い、今では全国の飲食店2000軒に納品し、1日の生産数が3万食を超えるようになり、現在は年商7億円だが7年後には100億円の大きな売上目標を立てて実現に向けての計画を立てている報告でした。私が素晴らしいと感じた事は、うどんの麺から何処の麺業もやっていない生パスタの製造販売に特化した事だと思います。しかも、スーパーや商社卸じゃなくて直接料理店やホテルに販売し、そして料理店のシェフと一緒に成って生パスタがお客さんにどのように調理したら美味しい評価を受けるかと、料理店と一緒に成って研究開発をして得意先を開拓して行った事が成功の要因に成ったと思います。元気の有る何処までも突き



進んでいく様な若き社長さんだと思いました。

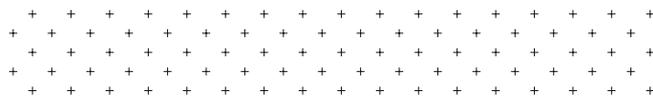
記念講演は有馬温泉(株)御所坊の社長 金井啓修氏の講演でした温泉地は何処の温泉地も昔はお客さんが多かったが今は閑散としている温泉地が多い中、湯布院温泉は活気づいているに学び有馬温泉をどうしたら楽しめる街に成るかの試行錯誤の中、京都からの直行バスを運行、自然を生かした歴史やストーリーづくり、回遊性の有る街づくりを行って有馬温泉の活気を取り戻した話でした。

今回全国大会に参加して学んだことはグループ討議、報告者、講演者の話の中から思ったのは時代を

見据えた競争しなくて良い商品開発や大きな目標を掲げて、それに向かって努力して行く事だと思いました。

また、グループ討論では自社が発展する為に今、何が必要ですかのテーマで討論しました、その中で人材教育や社内の組織づくりが大事であると結論が出ま

した。その為には、経営指針をしっかりと物にし、社員に確実に落とし込む事が大事であると結論が出ました。



中同協 第4回 幹事会 参加報告

開催日：3月9日(金) 13:00～17:00 会場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

代表理事 松尾 慶一

今回は、9日朝から中同協の財務委員会に出席のため、前夜に東京へ入り、航空券予約が遅れたため翌日の帰社となりました。財務委員会の内容は伝えて良いのか判りませんが、強烈な一言をお土産に持ち帰りました。

それは、いろいろな案件が有っても「特例を作ってはいけない」という言葉でした。特例を作るときがない。特例の為に更にまた特例を作ったりしなければならなくなる。同友会でも会社でも特例を作ってはいけない。私自身も振り返って考えさせられました。そして、大いに反省しました。

日頃会社で、「社長のお客さんだから特別に割引しといて。」と言う事が良くあります。社内の決め事があっても、「今回は、こうしておこう。」等々、私がルールを破っていたのだと言う事に気づかされました。大変ありがとうございました。今後は特別とか特例を作らないと決意しました。

午後からの幹事会は比較的スムーズに進行したと思います。ところが終盤に「中同協の役割・機能・活動・機関の現状と課題：対応」という提案事項が出たら、恒例の東京同友会、代表理事より質問と提案事項が発言されました。会場内も紛糾しましたが、私には中同協の上層部に各地同友会の声をもっと聴いてほし



いと言う風に聞こえました。逆に言えば幹事会にて私達が各地の役員として発言が少ないので事前に問いかけて、文書で提出をして欲しいという意見でした。もっともです。これも反省しきりです。幹事会に出席して意見も言わず承認して帰ってきてきていたので反省しました。以上二大反省です。

短いグループディスカッションでは、気づかされたのが増強に苦勞していることでしたので、11月14日長崎同友会の日を例に6月18日中小企業憲章制定の日を同友会の日と定め全国で仲間づくりに取り組んだら日本中で同友会が話題になり、凄い事にならないか？競い合う様なになれば5万人もすぐ達成できるのでは？と言う私の意見で盛り上がりました。

事務局次長 峰 圭太

8日午後からの九州・沖縄ブロックの事務局長会議に参加させていただき、翌日の今期4回目の中同協幹事会まで参加させていただきました。今回の幹事会は午後のみということもあり議題の審議がメインでした。しかし様々な議題を審議するなか、新たな課題等も見えた内容となりました。

中同協設立50周年を見据え、ロゴマークも決定し、5万名達成に向け、新たに方向性を確認しました。また、経営労働委員会から働く環境づくりのガイドライ

ンがあらためて提起され、今後の活用スケジュールの確認も行われました。働き方改革が提唱されるなか、労使見解をベースにした環境づくりは喫緊の課題の一つかと思えます。選ばれる企業づくりのため、長崎の会員さんにも活用していただけるよう、県の経営労働委員会と協力し周知していきたいと思えます。

来年2月に全研開催を控える長崎も今後幹事会に全研の概要や企画などを提案していくこととなります。事前準備を含め、会員さんが参加して良かったと思える全研になるよう、実行委員会を中心に。事務局も知恵を出していきたいと思えます。

第3回 新入社員フォローアップ研修 開催報告

開催日時：3月24日(土) 13:00～17:00 会場：シーハットおおむら



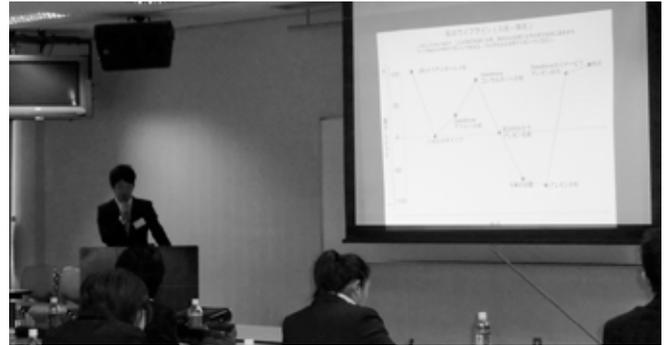
昨年4月3日、14社28名でスタートした第3期生の卒業式を兼ねた第3回新入社員フォローアップ研修がシーハットおおむらにて開催されました。当日は14名の参加をいただき、一人ずつから「私のライフライン」という形で入社してからの1年を振り返るプレゼンをしていただきました。それぞれ様々な形で作り込んだ資料をもとに、個性あふれるプレゼンとなりました。

入社してミスがあり落ち込んだこと、プライベートの充実によりモチベーションが上がり仕事への熱意が高まったことなど、1年を通してモチベーションを上下させながら、しかししっかりと成長された皆さんを拝見し、共に1年を通して私自身もたくさんのことを学ばせていただきました。

毎年、合同入社式で新たな出会いをいただき、研修

を通して会員企業の社員に触れ、社員を通して会員さんや会社を拝見できることは事務局員にとって大きな成果であり、喜びだと感じています。今後もこの運動を会の財産として委員会役員の皆さんと継続、進化させていきたいと思っています。

(文責 事務局 峰 圭太)



佐賀同友会 西支部 2月例会 参加報告

開催日時：2月27日(火) 18:30 会場：伊万里商工会館 テーマ：社員に光をあてる経営

報告者：(株)イベント21 代表取締役社長 中野 愛一郎 会員(奈良同友会)

佐賀同友会で中同協青年部連絡会の中野代表の報告があるということで、佐賀同友会を盛り上げようと全国から多くの参加者がみえられていました。中野さんの報告は父親が創業したイベント会社を父親の病気のため承継し、古参社員の反発や業績の悪化など多くの試練に遭いながらも必死にチャレンジを続け、当時は考えられなかったホームページでのイベント業務の受注などで業績を大きく回復させ、数名だった社員が今では100名を超えるまでになり同友会のグループ討論で学んだインプットよりアウトプットが大切で、主体者となり汗をかくことで自身の成長に繋げる(役得)を社員と共に実践し経営理念の「you happy, we happy!」を実現し日本や世界中の人たちの笑顔を生

み出せる企業創りをするため奮闘されていることを報告していただきました。グループ討論では、「社員さんの笑顔を生み出せる仕組みがありますか?」というテーマで討論し私のグループでは、社長自身が全力で取り組む姿勢を見せることで社員が同じベクトルになり、お互いをパートナーとして仕事に取り組み打ち解けることができれば、おのずと笑顔が生み出せるのではないかというまとめになりました。

初めて佐賀同友会の例会に参加させていただきましたが、青年部を設立したいとの思いや全国の学びを佐賀に届けたいという熱い思いを感じた例会でした。

(文責 長崎浦上支部 山口 善也)

What is 共同求人？

共同求人委員会連載コラム 第2回

共同求人委員会の活動は、 同友会活動の集大成

- ・経営理念や経営指針書の作成など、同友会活動を実践する仲間を増やしましょう。
- ・2020年に長崎同友会初となる、同友会主催の合同企業説明会(合説)を開催予定です。
- ・2020年の合説に参加できるか否かは、同友会活動(社員と新入社員が安心とビジョンを持って働ける職場環境づくり)が実践されているかどうか基準となります。

同友会には「よい会社をつくろう・よい経営者になろう・よい経営環境をつくろう」の三つの目的があり、その手段として、経営理念・経営指針書の作成および、経営計画発表会の開催、社内共育の充実など、人を生かす経営の実践が推奨されています。これらの手段を会員が実践する下地として、県と支部で委員会活動が活発に行われています。

近年の長崎県中小企業家同友会の増強は、非常に目覚ましいものがあります。仲間が増えることは、大変嬉しいことです。しかし、増強されると、一時的にある割合が低下します。それは、上記の同友会活動を実践している企業の割合です。増強によって分母が増えるわけですから、当然のことです。分母が増えた後、私たち会員は、同友会活動を実践する企業の分子を増やす活動が必要となります。経営理念や経営指針書作成を実践せず、例会出席だけを絆とした会員間の交流は、同友会活動の実践としてはまだ五合目と言えるかもしれません。当然、頂上はない坂の上の雲を目指した実践の継続ですが、景色をもっと高いところから

見ることで、より多くの経営課題が解決していくのは言わずもがなです。

2020年には、長崎同友会で初となる、同友会主催の合同企業説明会を開催予定です。一般的な合説か、時代に合わせた先進的なものになるか、どのような形になるかはこれから委員会の中で議論を進めていきます。いずれにせよ、2020年の合説を開催するわけですが、残念ながら希望する会員全てが参加できるわけではありません。経営理念・経営指針書の作成、社内共育プログラムの実践、時代に合わせた就業規則の作成など、現在の社員さん、そして新入社員さんが安心して、そしてビジョンを持って働ける企業づくりを実践している会員のみ、参加可能となります。つまり、共同求人委員会は、会員が同友会で学んだことをどれだけ実践できているかのチェック機能も持ち合わせます。

よって、共同求人委員会は、ビジョン委員会、経営労働委員会、共育委員会、ダイバーシティ委員会と連携を組んでいかなければなりません。縦割りではなく、委員会の横断的な活動を通して、会員が同友会を通して学んだことの実践、実現をサポートします。



(写真は沖縄同友会 合同企業説明会の様子です。)

投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。
企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数/約 500 字

●画像/歓迎します

掲載/情報広報委員会にて選考

投稿先/情報広報委員または同友会事務局まで

メール/jimu@nagasaki.doyu.jp



折込サービスのご案内

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを行っています。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月15日～20日に行います。支部指定も出来ます。

A4チラシ1枚5円です。**A3チラシは2枚分**となります。ご利用お待ちしております。

事務局企業訪問

今回の企業訪問は諫早支部のLes Fleurs(レ フルール) 張本 優子さんにお話を伺いました。



< Les Fleurs (レ フルール) >

Les Fleurs (レ フルール) では、ブライダルのお花全般とギフト関係をメインに取り扱われているほか、店頭でのお花、雑貨販売等も手がけておられます。

張本さんは、高校卒業後に専門学校へ通い、その後病院で医療事務の仕事をされておられました。病院での勤務時は、非常に多忙だったそうで、相当な長時間労働をされていたということです。そのような環境で趣味のお花の教室にも通えないということもあって、病院のお仕事を退職され、長崎市内のある花屋に転職されました。その後、いくつかの花屋での勤務を経て、今からおよそ20年前に実家の駐車場のスペースで花屋を創業されました。事業を少しずつ拡大するとともにプレハブを建てて、お店を大きくしていったそうです。そして、10年前に現在の場所にお店をオープンしました。

花屋は楽な仕事と言われることもあるそうですが、実際には重い物を運ぶ力仕事があったり、冬場は花を乾燥させないために暖房はつけられなかったりと、厳しい環境の中で仕事をされているそうです。

しかし、花嫁さんから自分が作ったブーケを「素敵、かわいい」と言ってもらえる瞬間がとても楽しく、それを原動力に仕事に取り組んでいらっしゃいます。

<同友会への入会>

同友会には2015年8月に入会されました。入会のきっかけは、すでに会員だったお兄さんの張本 洋二さんがお店に同友会のパンフレットを持ってこられ、「同友会は勉強になるよ」と勧められ、例会に参加してみたそうです。例会では、会員の皆さんが真剣に討論をしている姿に大きな衝撃を受け、また、ちょうどその頃、お店での小売りの売上げが伸びてきて、経営面で勉強をしたいと思っていたこともあり、すぐに同友会への入会を決められました。

入会してからは、とにかく自分が今まで知らなかったことに気づかされ、社員共育や根本的な経営の考え方など、経営者として足りないことが多く、自分自身が変わる必要があることを痛感されたそうです。

特にダイバーシティ委員会では、障がい者や女性の雇用問題等、実際にそれを知ること、接することで自分の気持ちが変わり、そのことを社員にも伝えるよう



になったそうです。

そして、張本さんのお店では障がい者の方が作られた雑貨を取り扱っておられ、綺麗なステンドグラスが特徴的な小物入れ等、私も実際に拝見し、同友会での活動がこうして経営につながっているのだなと実感しました。

<今後>

お店を創業して20年が経過したことから、初心にかえて今後は、お花のアレンジ教室を様々なイベントの場で開催していくことや、個人向けのブライダル事業を上げていくことに力を入れ、そして、お店の一角にあるカフェで新しいお客様と出会い、楽しく仕事をしたいと語る張本さん。

そして、社員共育にも力を入れ、社員の技術力や人としての立ち居振る舞いを向上させることで、色々な仕事の改善につなげ、お客様からの信用も得られるようにしていきたいとも語っておられました。

また、経営指針の作成にも興味をお持ちだそうです。それは、普段、仕事をしていくなかで自分が思っていることを社員にまとめて伝えることがなかなか難しく、経営指針を成文化して、社員と共有したいという思いがあるからだそうです。

この経営指針ができあがれば、張本さんが思い描く社員共育、会社の発展につながると思いますので、今後張本さんの素晴らしい経営指針ができあがることに期待します。

今回は卒業式、異動のシーズンという大変お忙しい中でご対応いただきありがとうございます。張本さんの本業・同友会活動ともにさらなるご発展を祈念いたします。

<会社概要>

Les Fleurs (レ フルール)

住所：〒854-1123 長崎県諫早市飯盛町里 2236-10

TEL：0957-48-1883 FAX：0957-48-1883

(文責 森川 健吾)

支 部 名	大村支部			
氏 名	いせ こうぞう 伊瀬 浩三			
企 業 名	(株)ナガスイ			
役 職 名	取締役			
企 業 住 所	〒856-0806 大村市富の原2丁目1462			
T E L	0957-55-7501	F A X		0957-55-6501
業 種	水産加工製造業			
企 業 PR	水産加工品を製造し全国に卸しています。			
スポンサー	大塚 正一			

支 部 名	大村支部			
氏 名	のぞえ ゆうじ 野添 祐二			
企 業 名	(有)野添商事			
役 職 名	常務取締役			
企 業 住 所	〒851-0134 長崎市田中町279-4 長崎市中央卸売市場内			
T E L	095-839-8745	F A X		095-839-8761
業 種	青果物小売・卸売業			
企 業 PR	「野菜・果実のことなら何でもお任せ下さい」 ・野菜・果実・小売・卸売 ・御中元・御歳暮 ・ギフト・お返し ・お土産・賞品 他			
スポンサー	大塚 真一			

支 部 名	大村支部			
氏 名	かじはら しげき 梶原 繁輝			
企 業 名	梶原実業(株)			
役 職 名	専務取締役			
企 業 住 所	〒856-0032 大村市東大村1丁目2390-5			
T E L	0957-53-9068	F A X		0957-52-5415
業 種	土木工事業・橋梁工事業・補修工事業			
企 業 PR	昭和53年に創業以来、橋梁工事業を中心に丸40周年を迎えようとしています。これまでの実績を基礎に技術や安全の向上に研鑽努力を行い、従業員への待遇改善に注力し次世代へ伸びゆく企業をめざしています。			
スポンサー	高瀬 邦彦			

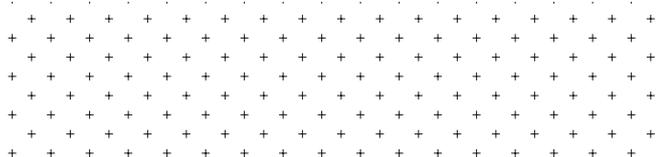
支 部 名	大村支部			
氏 名	はっとり まさき 服部 雅樹			
企 業 名	(株)プランズバンクシステムズ			
役 職 名	代表取締役社長			
企 業 住 所	〒856-0820 大村市協和町728-5			
T E L	0957-47-8955	F A X		0957-47-8955
業 種	古物商・質店・企業コンサルティング(マーケティング他)			
企 業 PR	お客様の声を第一に、顧客満足にこだわった店舗運営を行う、「大村発祥の質屋さん」です。			
スポンサー	中村 康祐			

支 部 名	大村支部			
氏 名	くわはら つねとし 桑原 庸年			
企 業 名	(有)桑原商店			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒856-0820 大村市協和町1698			
T E L	0957-54-3145	F A X		0957-54-3146
業 種	砂・砕石販売業・一般貨物運送業			
スポンサー	金井 政春			

支 部 名	諫早支部			
氏 名	いそだ さとみ 磯田 里美			
企 業 名	スナック オアシス			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒854-0016 諫早市高城町7-17 イズムビル4F			
T E L	080-8390-2387	F A X		
業 種	飲食業			
企 業 PR	色々なイベントに取り組みながら諫早がよりいっそう栄えて行けたらと願いつつ人と人の出逢いとつながりを大切にしていきたいと思っています。			
スポンサー	山口 大輔			

支 部 名	大村支部			
氏 名	しもがま ちひろ 下釜 千博			
企 業 名	美容室 SoulFlower(ソウルフラワー)			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒856-0817 大村市古賀島町365-8			
T E L	0957-51-4686	F A X		0957-51-4686
業 種	美容業			
企 業 PR	最高のいやしとヘアースタイルを提供いたします。			
スポンサー	山本 進			

支 部 名	諫早支部			
氏 名	いむら さなえ 今村 早苗			
企 業 名	SPROUT(スプラウト)			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒856-0814 大村市松並2丁目787-27			
T E L	0957-56-9229	F A X		0957-56-9229
業 種	エステサロン			
企 業 PR	心から笑える。心から楽しい。心からリフレッシュできる。そんな場所を提供したくてプライベートエステサロンをつくりました。気軽に、楽しくきれいになれる。リーズナブルでも結果の出せるエステサロンです!!			
スポンサー	東ジェニファー M			



支 部 名	諫早支部		
氏 名	こいずみ えいち 古泉 英一		
企 業 名	(株)さんわ		
役 職 名	代表取締役社長		
企 業 住 所	〒854-0037 諫早市川内町171-1		
T E L	0957-22-7555	F A X	
業 種	呉服・寝具 小売業		
企 業 PR	呉服・寝具の商品を通してお客様に、「感動」と「喜び」を提供し、地域に貢献できる企業として頑張っています。呉服・寝具に関する事、お困り事がありましたらお気軽にご相談下さい。		
スポンサー	寺尾 昌晃		

支 部 名	島原支部		
氏 名	いけだ よしろう 池田 悦蔵		
企 業 名	(株)まどか		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒855-0804 島原市万町516		
T E L	0957-64-8677	F A X	
業 種	飲食業		
企 業 PR	季節に応じた食材料理で、お一人様から大切な接待の場として幅広いシーンで御利用いただけます。		
スポンサー	横田 健		

支 部 名	島原支部		
氏 名	やすなが ほうりん 安永 法輪		
企 業 名	安永行政書士事務所		
役 職 名	行政書士		
企 業 住 所	〒855-0034 島原市田町732-1		
T E L	0957-63-6177	F A X	
業 種	行政書士		
企 業 PR	建設業許可(経審入札評点アップコンサル)その他各種営業許可・法人設立・補助金申請・外国人雇用サポート(入管申請取次)・合併分割企業法務サポート・相続後見信託サポート・ISO・離婚・慰謝料、交通事故、ADR紛争処理、その他法律相談・会計記帳事務所代行を取り扱っております。		
スポンサー	横田 耕詞		

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	かわぞえ そうきち 川添 荘吉		
企 業 名	(有)川添商工		
役 職 名	代表取締役社長		
企 業 住 所	〒857-0821 佐世保市白木町49-11		
T E L	0956-25-2922	F A X	
業 種	木箱製造業・食品包装資材卸売業		
企 業 PR	弊社は創業46年になり、食品包装資材卸と木箱製造業を営んでおります。食品包装資材業はホテル・病院・仕出し弁当業者様の厨房で使用する消耗品の卸売業です。木箱製造業は主に贈答品として使用されます。素麺・和洋菓子・めんたい等を入れる木箱を製造しております。お客様に長く親しまれる企業を目指しております。		
スポンサー	原田 良太		

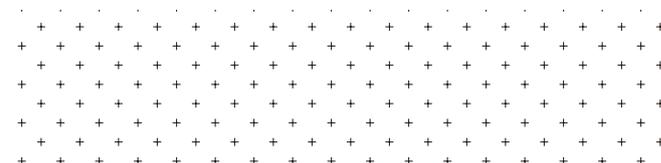
支 部 名	佐世保支部		
氏 名	たなか えいすけ 田中 英介		
企 業 名	(有)ほっとステーション		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒858-0925 佐世保市椎木町320-5		
T E L	0956-47-8830	F A X	
業 種	コンビニエンスストア		
スポンサー	松尾 慶一		

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	にしはた えいちろう 西畑 栄一郎		
企 業 名	(株)大東設備		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒859-3605 東彼杵郡川棚町百津郷296-122		
T E L	0956-82-4720	F A X	
業 種	建設業(管・土木・水道)		
企 業 PR	水まわりリフォーム、住宅設備、給排水衛生、空調換気設備、土工工事等、営業しております。詳しくはHPをご覧くださいませ!!		
スポンサー	松尾 慶一		

支 部 名	北松浦支部		
氏 名	おかもと まさとし 岡本 政敏		
企 業 名	(有)岡本造園土木		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒859-4518 松浦市志佐町池成免1140		
T E L	0956-72-0060	F A X	
業 種	造園業		
スポンサー	井手 眞悟		

< 交 代 >

支 部 名	大村支部		
氏 名	もりた しげのぶ 森田 茂伸		
企 業 名	税理士法人 森田事務所(長崎支社)		
役 職 名	代表社員		
企 業 住 所	〒850-0055 長崎市中町5-30 エルドラビル5F		
T E L	095-895-7091	F A X	
業 種	税理士法人		
前 会 員	濱村 俊介		



支 部 名	諫早支部		
氏 名	さいとう ひでゆき 齊藤 英之		
企 業 名	ロイヤルベルズ諫早		
役 職 名	支配人		
企 業 住 所	〒854-0053 諫早市小川町75-1		
T E L	0957-23-1290	F A X	
業 種	婚礼サービス業		
企 業 PR	1974年に玉姫殿としてオープンし45周年を迎える年となりました。現在では、名称をロイヤルベルズ諫早に変え地域の皆様のご婚礼・宴席のお手伝いをさせていただきます。		
前 会 員	森 忠敏		

支 部 名	大村支部		
氏 名	いとう ひろずみ 伊東 広純		
企 業 名	伊東貼飾屋		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒856-0041 大村市徳泉川内町709-2		
T E L	0957-42-3319	F A X	
業 種	建築内装仕上げ		
企 業 PR	壁、床、窓装飾等の建築内装仕上げを主に取り扱っております。所謂「一人親方」で一介の職人に近い経営形態ですので、お受けできるお仕事の量はあまり多くありませんが、その分、仕上がりに責任が持てる施工や提案ができるよう心掛けております。		
スポンサー	高瀬 邦彦		

支 部 名	諫早支部		
氏 名	たけの ゆういち 竹野 由一		
企 業 名	宅島建設(株)		
役 職 名	営業部 課長		
企 業 住 所	〒854-0513 雲仙市小浜町南本町7-22		
T E L	0957-75-0222	F A X	
業 種	総合建設業		
企 業 PR	夢をかたちに!!		
前 会 員	宅島 寿孝		

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	なかの かつとし 中野 勝利		
企 業 名	(有)ハイスター長崎		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒857-0022 佐世保市山手町13-16		
T E L	0956-22-3453	F A X	
業 種	浄化槽工事業		
企 業 PR	浄化槽の設計、施工21年真心込めて行ってます。		
スポンサー	坂本 博之		

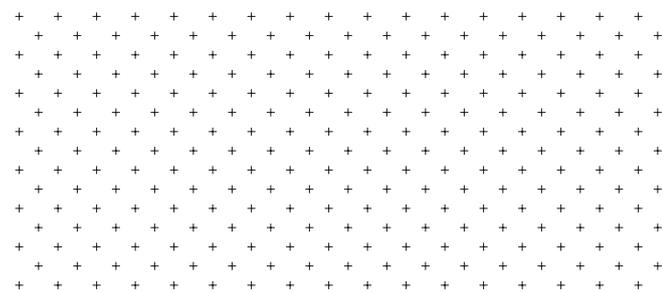
< 復 会 >

支 部 名	長崎浦上支部		
氏 名	みね まこと 峰 真人		
企 業 名	みねスポーツ		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒850-0011 長崎市鳴滝3丁目8-14		
T E L	095-807-3560	F A X	
業 種	空手道系東会・レイキ学院 プレア		
企 業 PR	カウンセリングを含む、気の乱れを調整調和させデトックスと促すレイキ/邪気祓いと全身ヒーリング施術をしております。レイキは日本発祥、現在は世界中でヒーリングの基礎と知られ、医療保険の適応、看護師過程などで資格として認められているレイキです。宇宙のエネルギーとセンターラインを繋ぐレイキヒーラー1日養成集中講座、レイキエネルギーUP交流会をしています。プレアの由来はプレアデス星団から。ひとつひとつの光が集まり輝きを発す!、エネルギー溢れるレイキプレアです☆宜しく申し上げます。		
スポンサー	川口 義己		

< 復会(交代を伴う) >

支 部 名	長崎出島支部		
氏 名	やました こういち 山下 晃一		
企 業 名	(株)ヤマシタ		
役 職 名	取締役		
企 業 住 所	〒851-0113 長崎市戸石町2806-27		
T E L	095-830-1868	F A X	
業 種	建築業・板金・屋根・外壁		
企 業 PR	建築板金をメインに工事を行っております。金属の屋根・外壁・雨トイのごことならお任せください。		
スポンサー	田中 清隆		

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	やすい まい 安井 麻依		
企 業 名	(株)彩		
役 職 名	取締役		
企 業 住 所	〒857-0802 佐世保市高天町4-8 三信ビル4F		
T E L	0956-25-2131	F A X	
業 種	レジャーホテル・ペットサロン		
企 業 PR	佐世保の立地も良い所で、安心、まごころのサービスを行ないます。福祉事業ともコラボした新しい業能として佐世保に貢献させていただきます。		
スポンサー	山領 進		



4月理事会 議事録 抜粋

2018年4月10日(火) 17:00~19:05
「えきまえ」いきいきひろば 出席26名 欠席8名

開会挨拶-松尾代表理事

いよいよ10年、最後の理事会になりました。言いたいことは山ほどありますが、「感謝いたします」のひとことです。

仲間づくりについて

1)入会・復会(交代含む)・企業変更・退会・取下の承認について-

【2017年度の動き】

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目 標	135	115	100	90	75	150	55	35	755
期 首	110	87	79	72	61	124	44	25	602
入 会	9	25	10	8	10	38	5	6	111
復 会	2	6	4	3	1	3			19
退 会	10	11	5	5	6	6	5		48
期 末	111	107	88	78	66	159	44	31	684

【期首】※支部移動後

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
	113	105	87	79	66	160	43	31	684

【今回理事会承認依頼分】

6名の入会、2名の復会(復会交代含む)、8名の退会、1名の取下げを承認

西山仲間づくり委員長総括-(委員長欠席のため松尾代表理事より)

おかげさまで純増できております。皆さんの協力で新しい仲間が増えています。初めて会う方も多く戸惑うこともあります。新しい辞書の1ページというよりも1冊の参考書が増え嬉しく思います。これからは各支部連携をして、新会員が同友会をよくわからないままやめていくということがないように、新会員の場づくりを考えていただきたいです。新会員は新しい友達がたくさんいます。ぜひ紹介いただけてください。最近は仲間づくりで訪問するのが楽しみです。新しい人に出会い、話を聞くことができ、同友会の話をして入会してくれる。こんなにうれしいことはありません。次年度は原田さんが仲間づくり委員長として、1000名に向けて頑張りますので、どうぞよろしくお祈りします。

協議・承認事項

1)2018年度に向けて

○決算・予算に関して

→最終決算資料、予算案審議

(石橋財務委員長より2017年度収支に関して詳細な説明あり)

・4月9日吉田監事より監査を受検、適正なものとして認めていただいたことを報告

・収入に関して- 会費収入も増え、定時総会や賀詞交歓会など多くの参加があり、委員会の活動が活発で特に経営指針実践セミナーは多くの会員が参加。そのため、大きく収入が増えた。

・支出に関して- 委員会の会場費も抑えられ、リーフレット等を今期発注をしなかったこと、中同協の専門委員会への出席も予定より少なかったため、支出が抑

えられた。

・組織強化基金に繰入を行った。

(上野次期財務委員長より2018年度予算に関して詳細な説明あり)

・収入は740名(期間平均)で計上

(質問)経営フォーラムの予算について、遠方からのバスの利用と参加費を抑えゲストに参加いただき増強につなげるために、予算の増額は可能か?

(回答)具体的な提案と数字を出していただいて検討をしたい

(総じて)2017年度決算・監査報告・2018年度予算(案)を承認、総会へ上程

○第47回定時総会について

4月19日(金)13:30~、諫早観光ホテル道具屋。参加費は総会のみは無料、懇親会参加の方は5,000円。記念講演者は鹿児島同友会上塘代表。講演テーマは「私の黒船、それは経営指針 ~共同求人・共育を通して知った人を生かす経営~」。総会式次第の内容について確認済み。

(今回提案・確認事項) ・予算案→予算案を承認

・総会の交通費補助について

→総会交通費補助を承認

・懇親交流会について

→着席ビュッフェで行う。

○三役会・理事会交通費について

→三役会案を承認

○事務局員採用および事務局体制について

・経理・一般事務正局員として吉田藍子さんの採用を承認

・山田局員を事務局長へ、田口局員を事務局主任に任命

2)第49回中小企業問題全国研究集会について

→3月27日の実行委員会の報告。

(松尾全研実行委員長)キャラバンでぜひ多くの方に参加いただけるよう支部からの全国大会参加補助を依頼

3)ビジョン委員会からの提案について

→長崎同友会としてのビジョン、第5次ビジョン作成の行程表。川上委員長よりビジョンと行程表の詳細な説明あり。

→各支部役員会・各委員会で長崎ビジョン(案)について協議いただき5月理事会での報告を依頼。2018年度ビジョン委員会活動行程表(案)を承認

4)中同協役員研修会兼九州・沖縄ブロック支部長・支部役員研修交流会について

長崎全研のグループ長研修の位置づけとして18人のグループ長を登録予定。また第3講の座長を長崎で担当。各支部会勢の5%参加を目指す

→上記を確認。2日目の13:30~15:30で中同協経営労働委員長の林氏より働く環境づくりのガイドラインの説明が行われる。

5)企業変革支援プログラムの活用について

(理事会決議事項)

段階的に広げていく(現在は支部役員対象)

→上記を確認

(宇土委員長)企業変革支援プログラムはSTEP1を登録し、STEP2のチェックをすることでかなりの成果が得られます。来期は実践セミナーの中でも企業変革支援プログラムを説明しますが、他にも勉強会を企画させていただきますのでよろしくお願いいたします。

6)同友会ポスターについて(報告)

→九州・沖縄ブロックで統一したデザインのポスターの完成と会員への発送を報告。

報告・連絡事項

1)3月 県本部・各委員会・各支部等の活動状況について

2)例会について(更なる例会の充実をめざして)－
(山口例会委員長欠席のため、田口事務局員より)
年間の出席率と来期について各支部にヒアリング

(本多次期例会委員長より)

返信率100%を目指すことを来期の方針に掲げています。役員だけでは達成することは大変ですので、支部全体の協力が必要になると思います。会員を巻き込んだ取り組みをお願いします。また返信率100%を目指すことで、仮に欠席の返事だったとしても、次へのつながりができます。どうぞよろしくお願い致します。

3)中同協 主要行事の紹介

理事は年1回、支部役員は2年に1回は全国大会に参加しましょう！(申し合わせ事項)(キャラバン対応組織)(敬称略)

5月24・25日(木・金)	中同協役員研修会兼九州・沖縄ブロック支部長交流会/熊本 長崎浦上-西村浩 大村-金井、谷、益田、宮崎 島原-横田耕 佐世保-橋口、松尾慶 北松浦-宮田
6月21・22日(木・金)	第21回 女性経営者全国交流会/埼玉(県南担当) /長崎浦上- 吉澤 長崎出島-中村こ
7月5・6日(木・金)	第50回 中同協定時総会/宮城(理事会担当)
9月13・14日(木・金)	第6回 人を生かす経営全国交流会/宮崎(県北担当)
11月29・30日(木・金)	第46回 青年経営者全国交流会/沖縄(青経担当および一般会員)
2月21・22日(木・金)	第49回 中小企業問題全国研究集会/長崎

4)3月8日(木)九州・沖縄ブロック事務局長会議参加報告(峰事務局次長)

5月の役員研修会に向けて各地の情報を共有しました。

5)3月9日(金)中同協第4回幹事会参加報告(松尾代表、峰事務局次長)

(松尾代表理事)参加するたびにいろいろなことを教えられます。今回は特例や特別を作ってはいけないというこ

とを学びました。あくまでオープンにきちんと決めたことをやっていくことが大切です。我が社では特例・特別を作っているのは自分なので、それをしないで対応できる会社になければ社員はついてこないと感じました。

6)3月12日(月) 経済産業局来局報告(峰事務局次長)
長崎の状況のヒアリングあり。会員の方に有益な情報が入りましたら、e.doyu掲示板にアップします。

7)3月24日(土) 第3期生第3回新入社員フォローアップ研修開催報告(松本委員長欠席のため峰事務局次長)
第3期は28名でスタートし、19名が残り今回は14名の参加でした。自社のプレゼンをしていただき、無事最後の研修を終え、懇親会を行いました。

8)3月26日(月) 第2回サービス産業活性化推進協議会参加報告(峰事務局次長)
来期は中央会が音頭を取って5業種に絞って支援するプログラムを作る予定です。

9)3月26日(月) 第6回長崎県産業人材育成産学官コンソーシアム会議参加報告(峰事務局次長)
Nピカ等の事業についてと来期は何に力を入れるのか説明がありました。同友会より合同入社式と共同求人について報告しました。

10)3月29日(木) 中同協情報化推進本部会議参加報告(峰事務局次長)
長崎のe.doyuの利用率は非常に高いです。今後はe.doyuを情報発信だけではなく組織づくりのツールとして活用することが確認されました。またソサエティー5.0の動画の紹介がありました。近い将来の大きな変化についてまとめられています、ぜひご覧ください。

11)4月2日(月) 2018年度合同入社式開催報告(松本委員長欠席のため峰事務局次長)
40人の参加をいただきました。今後フォローアップ研修をしっかりと行っていきます。

12)3ヵ月会費滞納者について－長崎出島支部2名(※理事会では氏名公表)

※次回日程－5月理事会 5月7日(月)
諫早市社会福祉会館またはシーハットおおむら

会員動向

退会者(敬称略)

会員名	会社名	支部名	入会年月
阿字野 仁	(株)データウェブ	長崎浦上	1997年11月
出口 晃司	(株)ドゥアイクリエイション	長崎浦上	2015年 9月
出口 一隆	ソニー生命保険(株)	長崎浦上	1997年11月
溝上 浩	(株)溝上建築設計事務所	長崎浦上	2006年 1月
宮崎 泰幸	(株)グランディカンパニー	長崎浦上	1992年 7月
石田 直正	(株)Five Innovation	長崎出島	2017年 6月
楠田 寿美	長崎ホルモン	長崎出島	2014年 8月
平湯 康一郎	MACTOOLS平湯	島 原	2014年 2月

●企業住所等変更

林 昭彦 会員 (長崎浦上支部)

新TEL 番号：095-827-5533 新FAX番号：095-827-5534

濱村 俊介 会員 (大村支部)

新会社名：濱村俊介税理士事務所 新役職：所長
新住所：〒850-0031 長崎市桜町3-13 山崎ビル2F
新TEL 番号：090-6824-3652 新FAX番号：095-825-0089

田浦 健吾 会員 (諫早支部)

新住所：〒859-0401 諫早市多良見町化屋714-4 ビハシティ喜々津駅前703

5月例会案内

他支部の例会情報は、ホームページや e.doyu から閲覧・参加申込可能です。

●長崎浦上支部

日 時 5月15日(火) 18:30～21:00
会 場 長崎新聞文化ホール・アストピア
テ - マ これまで、そしてこれから
～仕事や同友会、人との出会いで得たもの～(仮)
報 告 者 Smart 代表者
橋本 裕次郎 会員

2008年に前の会社から独立起業して今年で10年。初めは何もわからずただただ下請仕事を詰め込み、昼夜問わず現場で動いていました。しかし一年も経たずに仕事が少なくなり、悩んでいたときに同友会と出会い、即入会しました。同友会は9年目になります。独立してから学んだこと、大切にしてきたこと、そして同友会で学んだこと、入会してよかったこと、これからの目標を報告します。

●長崎出島支部

日 時 5月23日(水) 18:00～19:00
会 場 サンプリエール
テ - マ F.デザイン NAGASAKI(株)とは
報 告 者 F.デザイン NAGASAKI(株) 代表取締役
永石 一成 会員

長崎海星高校を卒業後、関西で7年和食の修業をした後、長崎に帰郷。長崎に帰り改めて、長崎県にある食材の魅力に気づかされ、ビジネスのチャンスを感じつつも、長崎県内における飲食店の雇用環境の悪さに愕然とする。果たして、長崎県内で飲食業界に夢を求め、憧れ、誇りを持って働いてくれる20代の若者が何人いるのだろうか…と考えた結果、飲食店で誇りを持って働ける場所を自分で作ろうと思い独立。事業を始めてまだ7年目ですが、これまで感じた事、そしてF.デザイン NAGASAKI(株)として何をしたいかを報告させていただきます。

●大村支部

日 時 5月17日(木) 18:30～21:15
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ - マ 西の果てからの挑戦！長崎から世界を攻める！
～(株)亀山電機の挑戦～
報 告 者 (株)亀山電機 代表取締役(同友会会員外)
北口 功幸 氏

坂本龍馬に憧れ、龍馬が作った会社「亀山社中」にちなみ長崎市で「亀山電機」を平成8年に31歳のときにたった一人でアパートの一室から創業開始。創業時から大切にしてきた思い、その思いを実現すべく日々研鑽を重ね、創業から22年経過した現在では事業は従業員101名(パート含む)、佐世保、大阪、静岡に事業所を展開している。創業から順調に業績を伸ばしてきた亀山電機ですが、リーマンショックの影響で売上が2年連続2割以上減少し、大きな危機を迎えます。危機を乗り越えるために北口社長は悩み、考え抜いた結果、あることに取り組み業績をV字回復させることに成功します。坂本龍馬ファンの会員様は必見の経営体験報告です。

●諫早支部

日 時 5月16日(水) 18:30～21:00
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
テ - マ ひろがる無限の可能性
～障がい者雇用の実際～
報 告 者 長崎県立希望が丘高等特別支援学校
進路指導主事 教諭 木下 順子 氏
(株)ゲオビジネスサポート
営業部九州エリア担当 ストアコーディネーター
企業在籍型職場適応援助者 宮本 孝之 氏

希望が丘高等特別支援学校の就職の取り組み、(株)ゲオビジネスサポートの企業内での取り組み。法律では「障がい者雇用促進法」が制定され障がい者雇用は身近な事となりました。今知らないはマズイ！！障がい者雇用をしてこそ一流の会社と言われています。まずは障がい者雇用を知る一歩です。知っていますか？助成金のこと。

●島原支部

日 時 5月17日(木) 19:00～21:15
会 場 HOTELシーサイド島原
テ - マ 未定
報 告 者 (有)生田建設 代表取締役
生田 忠照 会員

●佐世保支部

日 時 5月25日(金) 18:30～21:00
会 場 アルカスSASEBO 3F 大会議室
テ - マ 佐世保市における『インバウンド消費の拡大』
報 告 者 佐世保市職員
(株)橋高 取締役社長室長
橋高 裕季 会員

佐世保振興のための意見交換会として、テーマ『インバウンド消費の拡大』について、佐世保市職員の皆さんをゲストに迎え、熱い議論をします。会員企業と行政と協力一致で、具体的に実行できるアイデアを出します。

●北松浦支部

日 時 5月17日(木) 18:30～20:30
会 場 サンパーク吉井
テ - マ 2017年度経営指針勉強会参加者より1名
発表会予定！
報 告 者 未定

●五島支部

日 時 5月16日(水) 18:30～21:00
会 場 未定
テ - マ 経営から学ぶこと
報 告 者 (株)おおあらの里 所長
宮田 秀樹 会員

若くして、介護事業の所長を務められる宮田さん。この若き所長は、「経営」とおし、日々何を学んでいるのか？社員の幸せとは何なのだろうか。我々経営者はみんなで幸せになるために、何を考え、実行すべきなのだろうか？五島支部の若きホープ宮田さんの全力報告！！

●青年経営者会

日 時 5月12日(土) 19:00～21:00
会 場 ホテルニュー長崎
内 容 総会

長崎全研

2019年は長崎にて中小企業問題全国研究集会が開催されます!!
2019年2月21・22日開催まで

あと 310 日!!

※4月17日現在